

## 石油連盟 2020年 10大ニュース

### 1. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大

- ・新型コロナウイルスにより世界的に石油需要は減少。国内でも、ジェット燃料油を中心に大幅減を記録。
- ・石油業界は、感染拡大防止策を徹底し、国民生活に必要な石油製品の安定供給に努めた。

### 2. 菅首相、2050年カーボンニュートラルを宣言

- ・10月、菅首相は2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロを表明。石油業界は「持続可能な石油」の実現を目標に「長期低炭素ビジョン」の着実な実行によりカーボンニュートラルに貢献。

### 3. 原油価格、史上初のマイナスを記録

- ・4月、WTI先物価格は史上初のマイナス(▲37.63ドル/バレル)を記録。その後OPECプラスは史上最大規模の減産(日量970万バレル)に合意し、原油価格は安定的に推移。

### 4. エネルギー基本計画の見直し議論始まる

- ・2050年カーボンニュートラル実現と2030年目標に向けたエネルギー政策の議論が開始。

### 5. 「新国際資源戦略」の策定

- ・経産省は「3E+S」の原則の下、備蓄の機動性確保等の方向性を示した「新国際資源戦略」を策定。

### 6. 石油供給インフラの強靱化対策を推進

- ・災害時の安定供給に向けて強靱化対策を着実に推進。7月の九州豪雨では被災地への石油製品の安定供給を確保。また、全石連とともに「ガソリン満タン&灯油プラス1缶運動」を推進。

### 7. 中東情勢は引き続き緊迫化

- ・1月の米国によるイラン司令官殺害、11月のイラン核科学者暗殺など、中東における不安定な状況は継続。2月より自衛隊は情報収集活動のため中東へ派遣。

### 8. 米国次期大統領に民主党バイデン氏が就任へ

- ・パリ協定への復帰、米国内シェールオイルの規制、イラン核合意への復帰の可能性など、トランプ政権と異なるエネルギー政策が見込まれる。

### 9. 令和3年度税制改正要望活動の展開

- ・炭素税等石油諸税の更なる増税に反対するなどの税制改正要望活動を展開。

### 10. 石油連盟 杉森新会長就任。新キャッチフレーズに「持続可能な石油」

- ・「持続可能な石油」の実現を目標に石油の安定供給や気候変動問題といった課題への挑戦を表明。